

令和2年度 各委員会の年間調査テーマ

半田市議会では、各委員会が目的意識をもって調査テーマを設定し、課題の解決に向けて調査・研究を1年間行っています。今年度の調査テーマについては以下のとおりです。

総務委員会

新しい市民協働のあり方について

半田市では第6次総合計画（平成23年～令和2年）で「次代へつなぐ市民協働都市・はんだ」を掲げ、平成24年3月に「半田市市民協働推進計画（みんなでいっしょに大作戦）」を策定し、その推進に努めてきました。計画期間の最終年度を迎え、進捗状況や課題の有無など、現状を検証するとともに、10年間で生じた社会環境の変化に合わせ、目指すべき方向性や手法を見直す時期がきていると考えます。

このような現状を踏まえ、市民と半田市が一緒に取り組んできた「協働」が、今まで以上に市民から理解と協力を得て、さらに推進されるよう新しい市民協働のあり方について、調査研究を行っていきます。

文教厚生委員会

GIGAスクールの推進について

当委員会の閉会中の調査テーマは「GIGAスクールの推進について」オンライン家庭学習の環境整備について」としました。

「GIGAスクール構想」とは、昨年12月に国が示した多様な子どもたち誰一人取り残すことなく、創造性を育むという目的のため、児童生徒一人1台の情報端末の配備と、学校内のネットワーク環境整備を行うもので、半田市においても令和5年を目途に計画を進めていきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国はGIGAスクール構想の早期実現を表明し、半田市も当初の計画を前倒しすることを決めました。これを受け、当委員会では、児童生徒の学習の機会を保障するために、オンラインでの家庭学習ができる環境整備を進めるべく調査研究を行っていきます。

建設産業委員会

JR半田駅前の賑わいのある街づくりについて

JR武豊線の半田駅付近は、令和8年度に高架化され、その後、現在の線路や施設等の撤去を行い、令和9年度に整備事業の完了を予定しています。新しい半田駅に生まれ変わるこのタイミングに、駅周辺の賑わいを創出し、市民の皆様が利用しなくなる魅力ある場所にしていきたいと思えます。

そのためには、半田ならではの公園、駅前広場の整備や高架下の有効活用が不可欠です。市民にとって利便性が高く、賑やかな半田駅前にするために、どのようなことができるのか、その方法や手段を探り、これからの半田市の活性化と新たな駅前づくりのために調査研究を行っていきます。

広域行政調査特別委員会

広域行政と合併のメリット・デメリットについて調査研究していきます。

委員長 中川 健一
副委員長 榊原 伸行
委員 新美 保博
伊藤 正興
山田 清一
坂井 美穂
加藤 美幸
久世 孝宏
石川 英之

南吉を活かしたまちづくり調査特別委員会

児童文学の聖地を目指して、南吉を活かしたまちづくりについて、調査研究していきます。

委員長 小出 義一
副委員長 鈴木 健一
委員 嶋崎 昌弘
芳金 秀展
水野 尚美
鈴木 幸彦
山本 半治
竹内 功治
岩田 玲子
渡辺 昭司